

おうめじまん

05



市民の居場所になるために

令和6年9月28日（土）、新たな文化複合施設を考える市民ワークショップの最終回が開催されました。第5回が台風により中止となっていましたことから、**専門家レクチャーとグループワークの2部構成**で実施しました。

専門家レクチャーでは（株）シアターワークショップ代表の伊東正示より、第5回で実施予定であった**ブロック模型について解説**しました。参加者の皆さんには実際に模型を見たり触ったりしていただき、どんな施設にしていきたいか、より具体的に想像してもらいました。

そして、グループワークでは「市民参画について考えよう」をテーマに意見交換を行いました。**計画中から開館まで市民のワクワク感を醸成できる取り組み、【市民が主役】の場所となるための取り組み**について、これまでの意見を振り返りながら考えました。

開館まで長い年月はかかりますが、新たな文化複合施設に積極的に関わりたいという参加者の皆さんの熱意が伝わる最終回となりました！



知ってつくって育んで

「市民参画について考えよう」

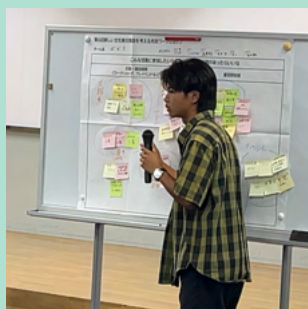
最終回も変わらずユーモアを交えながら沢山の意見が集まりました。一方で、「自分にはなにができるか」「どんな施設になってほしいか」悩む方も多く、模型からヒントを得ようと模型のまわりに集まる場面もみられました！

どのグループも「計画や施設の情報発信・PR」を取り上げており、計画段階から新施設について市民に知ってもらう・広めることを重要視していました。また、「現場見学会」「プレイベント」「施設名・キャラクター公募」といった気軽に参加できる取り組みも多く挙がりました。興味はあっても関わる勇気が出ないという方もいらっしゃると思いますので、参加のハードルが高すぎない取り組みは大切ですね。

そして、「今回のワークショップメンバーでもっと意見交換を重ねたい！」「みんなでイベントを企画したい！」といった嬉しい声も！

本ワークショップは、今回でひと区切りとなりますが、今後も市民の皆さんと意見交換ができる機会を設けていきたいと考えています。

この度は、本当にありがとうございました！



参加者の声



当事者としてワークショップに関わることができてよかった、とあらためて思いました。完成まで9年という期間があるので、今後も市民が現状を知る機会、市民の声を取り入れる為の機会を設けて欲しいと感じます。ワークショップの計画/実行おつかれさまでした、ありがとうございました。

市民が運営していく大切さを教えて頂きました。

この流れを今後も計画的に継続して頂ければと思います。

実際に例を見ながら考えるとイメージがわいてよかった。次回がほしいです！



参加者の意見一挙大公開！



レイアウトの都合上、皆様からのご意見を一部抜粋しています。ご了承ください。

	計画中～建設工事中	運営開始後		
かき	■市民にPR ・多言語でPRしたい ・インスタでPR ・ポスター作成 ・YouTubeで動画配信 ・(建設中の)壁にイメージ投影 ・文化複合施設のキャラクターを考える ■市民企画公募 ・みんなの好きなおすすめ音楽大募集 ・市民公募「どんな演劇見たい？」	■市民ワークショップ ・今回のワークショップと同じメンバーで話し合いの場を（＋専門家も） ■その他 ・廃止される福祉センターの代替スペース(会議室)の確保 ・シニアカー体験 →免許返納へ(JAIに協力してもらう)	■市民参加・体験型 ・ワークショップに参加した人たちにイベント開催 ・基本計画/設計具体化までの市民参画 ・ホールスタッフしてみたい！ ・舞台裏公開 ・アンダー〇歳制度（U25割あんど） ・こどもクラブ HUG(育む) ・若者クラブ REN(連) ・大人倶楽部 RIN(年輪) ・シニアくらぶ GIN(シルバー) ・お山歩(さんぽ)倶楽部	■運営体制や事業について ・施設の稼働率を上げるためには企画、運営、管理に精通した専門家組織が必要 ・施設の稼働率を上げるために必要な専門人材の確保 ・(上質な)クラシック音楽コンサート
りんご	■計画について ・市の事務的な考えでなく市民を常に巻き込んで進めてほしい(専門的) ・ワークショップ最初の時の想いは切り捨ててほしくない ・進行状況を常に外に発信・配信する ・計画、基本設計、実施設計ごとに報告してほしい ・基本設計、実施設計、各段階×2回ほど市民参加WS「意見のキャッチボール」 ・設計コンペの参加 ■情報発信 ・SNSでの配信＋市民アンケート ・情報発信スタジオ (プレオープン～開館後まで)	■ワークショップ ・「おうめじまん」の経緯 ・新文化施設を支える「市民の輪の会」 ・市民参加計画のためのWS ・運営組織を考えるWS ■工事現場 ・仮囲いにお絵描き ・工事現場の見学 ・建設現場見学会 ■その他 ・子どものお祭り	■仕事 ・コーディネーターの配置 ・専門の(技術)サポートスタッフ養成 ■イベント・市民組織 ・施設内外での「こどもまつり」 ・市民は無料の映画、舞台、鑑賞会 ・クリスマスなどのイベントを進める組織 ・市民文化祭実行委員会 ・運営についてのオープン会議 「市民会議」の実施(2年ごと改選)	■その他 ・シャトルバスの運行 ・色々な年齢の人と話せる場所 ＝色々な仕事の話、相談とかetc... ・保育園などとの併設
ぶどう	■広報系 ・建設の様子をYouTube配信 ・ショートムービー(施設ができるまで) ・施設作りを体験できる企画 ・ポスターとかPR動画 ・市民広報部設立(SNSメイン) ■イベント ・現場見学会(小学生にも見に来てもらいたい！未来を背負う青梅市民です！) ・野外イベント(音楽・軽食) ・青梅出身の音楽家によるオープニングセレモニー ・音楽団体に参加している	■公募系(施設) ・ロゴマーク公募 ・施設のネーミング公募 ・ゆるキャラ公募 ■文化芸術 ・文化条例の設定 ・文化芸術団体の設立(楽団・劇団など) ・市民、専門家を交えた「市民協会議」の設立 ■その他 ・市民アンケートの実施 ・15年間の遅れを取り戻す検討 ・会議室、ホールなど予約の仕方を公開する	■子ども ・親子で参加できる、子どもの楽しめるイベント ・子ども遊びワークショップ ・地域の子どもが開催に携わる緑日やイベント ■運営参加 ・LINE友の会の設立 ・市民参加型劇公演 ・イベント運営のボランティアスタッフ(音楽、映画など) ・高校生中心のSNS発信チーム ・NPO法人の設立(運営のサポート) ・友の会(公演チケットの購入、優先割引、何かしらの特典) ・清掃ボランティア ・映画作成ルーム	■参加型季節イベント ・父の日イベント ・母の日イベント ・敬老の日イベント ・児童による子どもの日イベント ・もちつき ・ボランティア活動の企画(地域参加型) ・イルミネーション ・学校での活動を発表できる場 ・地域のハロウィン ■その他イベント ・フリマ ・展覧会 ・スタンブラリー ・アニメ交流イベント ・小学校や中学校の授業で練習したダンスや音楽の披露会 ・皆が演奏したいと思う企画
くり	■学びの機会 ・定評のある市民サポーターグループの話を聞く場をもつ ・イベント実施のレクチャー ・文化施設視察ツアー ■市民参加&意見を伝える ・ワークショップの延長 ・設計案意見交換会 ・現場見学会 ・設計の段階で女性の声を聞いてほしい ・市外の人々の意見を聞く会 ・様々な属性の市民にヒアリング ・愛称の公募(ロゴマーク含む) ・計画の段階でも市民の意見が届く場を設けてほしい	■サポーター育成 ・市民サポーター ・ヤングスタッフ(中高生のサポーター) ・サポートスタッフの組織化 ■広報、SNSなど(運営開始後と共通) ・資料など市のホームページから見られるがもっと見やすく別サイトで立ち上げる ・SNS発信 ・インスタ開設 ・建設過程をYouTubeで！ ・予定や行事などをインスタ、Xですぐ見られるように ・メールマガジンの発信 ・学校にイベント等のチラシ配布	■イベント企画 ・お祭など大きなイベントをひらいて施設を知ってもらう ・子どもが企画運営するイベント、お祭り ・装飾イベント(壁に絵を描いたり) ・アンケートでイベント案募集 ・オープニングイベントの企画	■その他 ・友の会(有料)の設立 ・定期的にコンサルタントに評価、アドバイスをもらう ・出演者や利用者の使い勝手を聞く ・市長や市議会議員に直接会って話す機会を持つ 
なし	■市民参加 ・自治会や高齢者クラブからも意見を聞く ・市民ワークショップを引き続き開催する ・運営方法作りに参加 ・こども家庭センター、大型児童センターについて子育て世代、親御さん、子どもたちの意見を聞くことも委員会を作る ・基本設計作りに参加 ・商工会議所、ロータリークラブ、ライオンズクラブからも意見を ・施設設計や管理運営計画のときにもワークショップ開催 ・市民目線での決定過程のチェック ・大型児童センターの中に絵本の読み聞かせ等ができるおはなしの部屋があると良い	■文化 ・文化とは何か ・地域の文化のありようを調べる ・青梅の文化を調べる ■PR ・文化複合施設の情報 ・LINE、インスタなどSNSで発信 ・工事見学会(工事の見える化) ・東青梅駅でPR	■活用 ・施設と地域の連携を考える ・活用方法のアドバイザー ・施設の活用方法を考える ■市民サポート ・市民サポーター育成 ・施設のサポート組織を作る ・市民演劇祭や市民オペラをやるなら、市民スタッフをその都度募集する(演者以外) ・大型児童センター等シニアボランティアの方(高齢者)の参加 →お年寄りとお子さんの交流	■PR ・施設のPR ・東青梅駅でPRする ・SNSの発信 ■運営 ・活用方法やイベントの企画 ・市民参加の運営委員会をつくる(1企画、2接客etc...) ・管理運営への市民参加の機会をつくる ・施設の運営を市民目線でチェックする